



## 私のすすめるこの1冊

橋本 京子(教職キャリア高度化センター 教授)

### 『橋をかける—子供時代の読書の思い出』

美智子 (著)

「本の中で、過去現在の作家の創作の源となった喜びに触れることは、読む者に生きる喜びを与え、失意の時に生きようとする希望を取り戻させ、再び飛翔する翼をととのえさせます。」

この文章は、1998年第26回国際児童図書評議会 (IBBY) ニューデリー大会によせて、美智子皇后のビデオによる基調講演をまとめた「橋をかける」の一節です。本の力、読書の素晴らしさ、子ども時代の読書の意味があますところなく美しく紡がれています。読書の魅力について書かれたものは沢山ありますが、この本との出会いは、私に、ある仕事に向かう勇気と希望を与えてくれました。

当時、学校の隅にあって埃っぽく古い本ばかりの図書室に、ようやく光が差し込み始めた頃でした。今では当たり前のように取り組まれている「朝の読書」は、全国で約300校しか取り組まれておらず、「子どもの読書活動の推進に関する法律」も制定されていませんでした。不読者の多かった中学校で忸怩たる思いで図書館教育を経験した私にとって、言葉の一つ一つの深さが胸を打ち、読書活動推進に向けて背中を押す一冊になりました。

美智子皇后が子供時代に読まれた多くの本が紹介され、戦争中という厳しい状況にあっても本を励みに「自分を歩き続けさせてくれた」読書体験を踏ま

えて、読書のもつ意味を投げかけ、読書と人生について語りかけてくれます。

「読書は人生の全てが、決して単純でないことを教えてくれました。私たちは複雑さに耐えて生きていかなければならないということ。人と人との関係においても。国と国との関係においても。」

まさに、今と未来を生きる若者や子どもたちに伝えたい言葉です。社会の変化は加速度的でますます複雑・不透明になり、身に付けなければならないこと、担わなければならないことが年々多くなっています。「複雑さに耐え生きる」とは、困難に直面した時、あきらめたり極端な思考に走ってしまったりするのではなく、複雑さ・困難さを受け入れて「再び飛翔する翼」をもちレジリエントに生きることではないかと思います。そして、その土台づくりを読書は担っています。

刺激的なゲームやテレビ、スマホに浸る時間の多い子どもたち、約50%が不読者の高校生など、読書を巡る課題はまだ山積されています。これから教師となり、親となり、子どもたちと本との関わりを担う皆さんに、「子供達が、自分の中に、しっかりと根を持つために」「子供達が、喜びと想像の強い翼を持つために」大切な読書の意味を再度問いながら読んでもらいたい一冊です。

# ☆☆みんなでつくろう！わくわくブックチャート☆☆ 読書キャンペーン

対象：本学学生

実施期間：2016年10月1日(土)～2017年2月17日(金)

どんどん参加してね！



## ① まず本を借りる★ (9/26～先行実施)

♥「そったくんポリバッグ」をもらう

## ② 借りた本を返す★

♥「ポイントカード」をもらう(1ポイント付、期間中1回)

## ③ 本を読んでチャートを書く★

♥1ポイントもらう  
または

## ③ 本を読んでコメントを書く★

♥3ポイントもらう

◆館長賞のWチャンス！

## ④ 学修支援グッズをもらう★

- ◆3ポイント：そったくんグッズ、文房具など
- ◆5ポイント：そったくんビニールトートバッグ

獲得ポイント数に応じて選べます！  
(先着順。なくなり次第終了)

## ☆☆賞品の引換☆☆

- ♠期間：2016年10月3日～  
2017年3月24日
- ♠時間：月～金 9:00～17:00
- ♠場所：附属図書館1F 事務室

## 図書館講習会のお知らせ

### 【申込方法】

氏名・専攻・日時を明記の上、  
library@kyokyo-u.ac.jp までご連絡ください。  
当日参加の場合は開始時間の5分前までにカウン  
ターにお申し込みください。

### 海外文献検索入門

【開催日時】11月1日(火)、  
4日(金) 16:15～16:45

### エブスコ社から講師を招いて特別講習会も実施！

【開催日時】  
エブスコホスト(EBSCOhost)  
12月7日(水) 13:00～14:00

### Tools 講座 ～論文執筆に便利なツールをご紹介！

【開催日時】  
文献管理講座 11月30日(水) 14:00～14:30  
Word 講座 11月30日(水) 14:40～15:10

## リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画を始めました！

- リクエストは随時受け付けています
- ・学習研究目的のものは原則として購入します。
- ・学習研究以外の目的のものは、毎月10日までに受け付けた分を15日～月末に館内で投票し、票の多かった本を購入します。(結果によっては購入できないこともあります。)リクエストや投票にどんどん参加してください！

読みたい本に投票しよう！(1日1ポイントまで)

※11月の投票期間は

**11月15日(火)～11月30日(水)**です。

図書館1階渡り廊下とリフレッシュラウンジに掲示しています。

投票結果は館内に掲示しますのでお楽しみに！

…10月はこんな本が投票対象でした…

『最後の秘境東京藝大：天才たちのカオスな日常』、『サラバ！』西加奈子著、『桂離宮・修学院離宮・仙洞御所：庭守の技と心』、『石灯籠の話』、『海賊とよばれた男』百田尚樹著、『校閲ガール』宮木あや子著、『愚物語』西尾維新著、『全部レンチン！やせるおかず作りおき』…など

※貸出できます。(貸出中の場合は予約してください。)



### 第3回を開催しました

10月19日(水)、附属図書館1階のリフレッシュラウンジにて「それはかなう夢講座」が実施されました。第3回は、社会科学科の香川貴志教授による「直下型大地震からの市街地復興を考えるー文理融合的な視点からのクライストチャーチと神戸の比較ー」をテーマに、実際に起こった地震のタイプと復興状況の比較が紹介されました。参加者にはおにぎりとお茶が配られ、定員30名のところを約40名の参加があり、多くの学生や教職員で賑わいました。



第3回の様子↑

おにぎり2個&  
お茶付き!  
先着30名

### 第4回のお知らせ

【日時】2016年12月14日(水) 12:10~12:40  
【場所】附属図書館1階 リフレッシュラウンジ  
【講師】田爪宏二(教育学科 准教授)  
【テーマ】記憶のメカニズムを科学する

≪概要≫単語や公式を何度繰り返して暗記してもなかなか覚えられなかったり、その一方で一度聞いただけの歌詞が忘れられなかったり、はたまたま人の名前が喉まで出かかっているのになかなか出て来ない…といった経験は誰でもあるものです。このような記憶に関する問題は、教育や学習にも密接に関係します。今回は、記憶の仕組みやその不思議について、心理学の立場から科学的に迫ってみたいと思います。記憶についての体験していただくための簡単な実験も行います。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト準備WG  
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

## えほんのもり (場所：児童書コーナー)

今月の読み聞かせ会は、  
**11月21日(月) 15:00~** です。

### 『おふろだいすき』

作：松岡 亨子  
絵：林 明子  
出版社：福音館書店



今月の  
絵本カードは  
こちら!

#### ★あらすじ★

まこちゃんはおふろが大好き。いつも あひるのブツカをつれて おふろに入ります。ある日おふろに入ると、かめ・ペンギン・おっとせい…たくさんの動物が出てきて…。

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

### 学修相談カウンター 11月も受付ています!

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか? どんどん利用してください!

【場所】北館2階ラーニングcommons  
【時間】16:00~20:00の該当時間



### 企画展示室

みなさんも、発表の場にどんどん活用してくださいね。

【報告】…開催しました!

#### ◆「たまに羽がはえるとき」(eプロジェクト)

10月12日(水)~21日美術科教育専修4人による作品展。教員とのトークイベントも盛り上がりました。



トークイベントの様子→

#### ◆第27回 MOA美術館伏見区児童作品展

10月28日(金)~29日(土)  
子ども達の力作が勢揃い!

【告知】ぜひ、ご覧ください!

#### ◆第21回 教科書展 高校物理・生物編

【日時】11月9日(水)~12月10日(土)  
【休館】日・祝および、11/26(土)、12/3(土)  
※但し、11/13(日)は藤陵祭の為展示のみ開館しています。  
【時間】9時~附属図書館の開館時間に準ずる  
学習指導要領、教科書、理化学機器などを展示します。

#### ◆同窓会写真展

11月11日(金)~14日(月) 9:00~17:00

### 【開催中】

#### ◆企画展「音をたのしむ×音からまなぶ」

【期間】2016(平成28)年11月2日(水)~  
2017(平成29)年1月30日(月)の月・水・金・日  
※但し祝日は休館 【時間】13:30~17:00

#### ◆第5回 京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー

【期間】2016年8月25日(木)~12月3日(土)  
今年も大学ミュージアムへ! 京都の大学ミュージアムをまわって知と美と素敵な景品を手にとろう!

### 教育資料館 まなびの森ミュージアム

#### 今月の逸品「京洛地図」

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしていますので、ぜひミュージアムへ来てください!



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム

<http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

今回の執筆者 井上 文夫(体育学科 教授)

### 異学年合同給食が児童の社会性の育成に及ぼす影響

井上 文夫・浅井 千恵子・藤原 寛・若狭 幸恵

京都教育大学紀要. 2016, No.128, pp.155-164

「同じ釜の飯を食う」という言葉の意味は、限られた食べ物を分配し、一緒に食べることで、その中でお互いの人間関係を確認し、社会のルールを理解し、集団への帰属意識が強くなる事が含まれています。T 県は比較的異学年合同給食が行われている学校が多く、それを経験した本学学生の話からも社会性の違いが推測されました。そこで本論文では、ふだんから異学年合同給食をしている小学校と、通常のクラス給食をしている小学校では、子どもたちの社会性に違いがあるのではないかと考え、それぞれの学校の子どもたちに社会性の質問紙調査を行いました。その結果、社会性尺度のうち、「自己への気づき」、「他者への気づき」、「自己コントロール」、「対人関係」、「責任ある意思決定」、「協調性」のすべての得点は、異学年合同給食をしている学校の方が高い結果となりました。異学年合同給食では、①食べるという生理的欲求がベースにあり、最終的に満足のうち終わることが多い、②上級生にとっては毎日行ってきたことで、見通しをもち、自信をもって下級生を指導できる、③上級生は手本になることができ、下級生は上級生に感謝の気持ちを持つことができるなどの点から、社会性の育成にきわめて効果的と考えられました。実施にあたっては、スペースの確保、指導内容の改善など、様々な点で検討すべきことがあるとおもいますが、今後広く行われることを期待しています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 128 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00  
 ■学内者のみ(9:00~17:00) ■休館(CLOSED)

2016年11月

		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

11/2 館内整理日  
 11/26 推薦入試(学外者来館不可)


2016年12月

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

12/3 推薦入試  
 12/23-1/4 冬季休業

●京都教育大学附属図書館ホームページ  
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>



●携帯版図書館ホームページ (QRコード)   
<http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

京教図書館 News No.194(2016年11月号)  
 発行日:平成28年11月1日  
 編集発行:京都教育大学附属図書館  
 問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

